

第IV部門

鉄道に着目した甲子園地区の都市的変貌とその現況に関する研究

株式会社 長谷工アーベスト

正会員 ○久保 琢史

近畿大学講師 理工学部社会環境工学科

正会員 岡田 昌彰

1. 研究の背景と目的

兵庫県西宮市東部に位置する甲子園地区は現在、大阪通勤圏の住宅地として知られている。いっぽう、1920年代には甲子園球場ほかスポーツ・レクリエーション施設や甲子園ホテルなどのリゾート施設が立地し、特徴的な都市空間が整備されていった。片木ら¹⁾は当地に展開していたリゾート空間の質的変容について言及しているものの、その形成・変容に大きな役割を果たした交通機関に着目した分析には至っていない。

本研究は、当地の開発・発展に並行して整備された代表的なインフラの1つである鉄道に着目し、その役割変化に伴う都市空間の変貌ならびに現存する歴史的痕跡の可能性について検討を行う。

2. リゾート地甲子園の形成過程及びその衰退²⁾³⁾

図-1 甲子園地図 1920 年頃

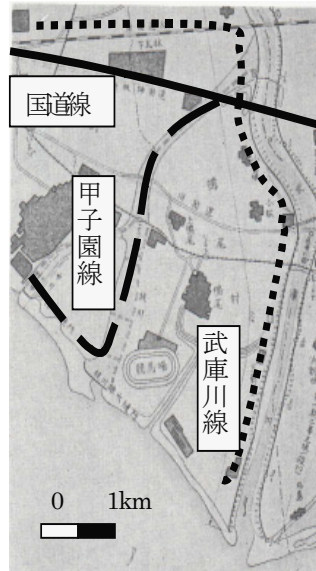


図-2 甲子園地図 1944 年頃

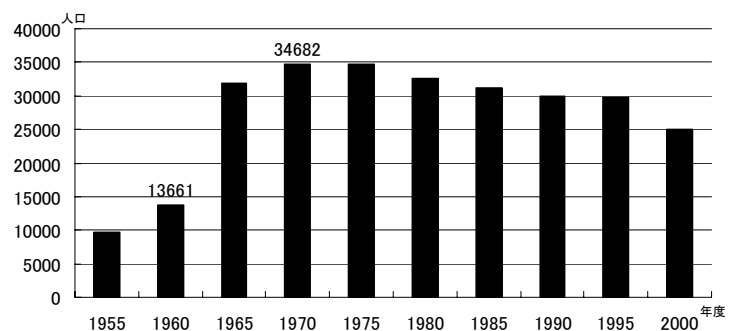
兵庫県西宮市と尼崎市の境界に位置する武庫川は古くから度々氾濫し、洪水の被害が絶えず“暴れ川”とも呼ばれていた。1923年、兵庫県は枝川と申川を廃川処分とすることを決定し、武庫川沿いに強固な堤防を築造した(図-1)。これと同年、阪神電鉄は当地において大規模なスポーツ・レクリエーション施設の開発に着手し、甲子園球場(1924年)、南運動場(1929年)、阪神パーク(1929年)、甲子園ホテル(1930年)などが次々と建設された。1930年にはこれらを結ぶ阪神鉄道甲子園線が敷設され、各施設への有効なアクセス交通手段となっていた。

いっぽう、第二次世界大戦開戦とともに甲子園のリゾート地としての役割が急激に薄れていく。

海浜部にあった阪神パーク・南運動場・阪神水族館が川西航空機工場拡大のため1943年に取り壊されたほか、甲子園球場は軍用トラック置き場に(1944年)、甲子園庭球場は飛行機検査場に(1944年)、さらに甲子園ホテルは1944年に海軍病院に転用されるなど各施設も軍用施設へと変化した。これに並行して、1945年には川西航空機工場への貨物輸送線として武庫川沿いに軍用路線武庫川線が敷設されている(図-2)。

3. 戦後のベッドタウン化

このように戦時中次々と軍用化した施設は、終戦後住宅地へと変化する。特に、当地区海浜部に位置する浜甲子園地区において1961年より整備が開始された「浜甲子園団地」は棟数102を超えるものであり、当時のわが国を代表する大規模団地が形成されている。当地区の人口は、1960年から1970年にかけて約3倍へと急激に増加しており(図-3)、このような住宅施設が増加した影響が強く見られる。

図-3 浜甲子園地区の人口変化⁴⁾

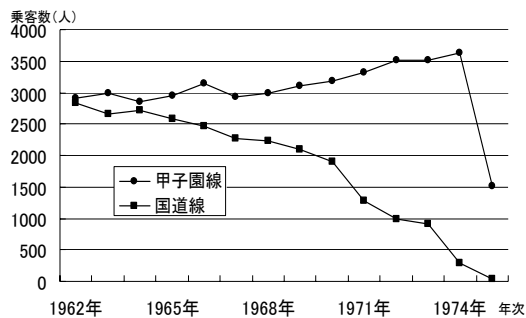


図-4 阪神甲子園線・国道線の乗客数⁴⁾

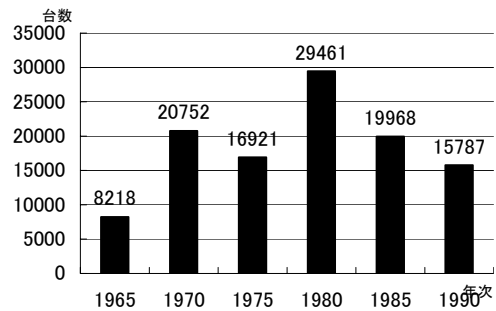


図-5 国道2号線神楽町付近乗用車通過台数⁴⁾

一方、鉄道は戦後も地域住民の通勤・通学手段として利用されていたが、1955年頃より始まるモータリゼーションの進展によって阪神国道線の運転速度の低下・乗客数の減少が特に目立つようになった（図-4、図-5）。また、甲子園地区の住宅開発が進むにつれ阪神甲子園線の乗客も1974年頃までは増加するが、国道線が廃止されるとともに尼崎市大庄川田町付近に位置していた車庫へのアクセスが途切れる事を理由に、1975年に甲子園線も廃止されている。これによって甲子園地区における鉄道の役割は完全に消滅することとなる。

4. 旧鉄道空間の現況～今後の可能性

上記のように甲子園地区の都市的変貌に寄与した鉄道施設は現在完全に消滅しているが、その痕跡を残す施設や空間が現存しており、当地域における今後の歴史的空間整備において注目し得るものといえる。例えば、鉄道廃線跡が元の軌道諸元を反映させながら特徴的な線的・曲線的空間を形成しているほか、その沿線に位置する甲子園口 SL 公園には旧鉄道用の給水塔が現存している（図-6）

5. 結語

本研究において把握した甲子園地区における鉄道ならびに都市的変貌を総括する（表-1）。各時代における都市的特質に対して、鉄道の役割がそれに呼応しながら変化していることがわかる。現在は鉄道そのものが消滅している状況にあるが、その形成空間は各時代の都市的特質を部分的にも顕著に反映していることから、地域史の理解を視覚的に促す近代化遺産としての役割も今後検討されるべきであろう。



図-6 現在の甲子園地区における旧鉄道空間の痕跡（筆者撮影）

左）中甲子園地区の鉄道廃線（曲線） 中）浜甲子園地区の鉄道廃線（直線） 右）甲子園口 SL 公園の旧鉄道用給水塔

表-1 甲子園地区における鉄道ならびに都市的変貌のまとめ

	1924-41 (リゾート開発時代)	1941-45 (戦時)	1945-75 (住宅開発時代)	1975- (現在)
主要立地施設	スリッパ・レクリエーション施設	飛行場、軍用病院 等	住宅・商業施設	
鉄道の役割	上記施設へのアクセス	軍用路線	通勤・通学	(消滅) → 特徴的痕跡
都市的特質	リゾート空間	軍事基地	ベッドタウン	

【参考文献】

- 1) 片木篤、藤谷陽悦、角野幸博：近代日本の郊外住宅地、鹿島出版会、2000
- 2) 阪神電気鉄道株式会社：阪神電気鉄道 80 年史、1985
- 3) 阪神電気鉄道株式会社：輸送奉仕の 50 年、1955
- 4) 西宮市統計書、1965～2000